

1. 仕事内容

日本の平和と独立、安全を守り抜く最後の砦として、防衛政策の企画・立案を担当するのが本省内部部局です。

日本周辺には、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事活動の活発化の傾向が顕著となっています。こうした中、防衛政策の基本的方針を定める戦略文書の作成、その戦略を実現するための防衛力整備、法律及び予算の策定、日米同盟強化のための様々な調整・交渉等——皆さんが本省内部部局の主力たる事務官等として採用されることは、このような仕事を皆さん自身の手で推し進めることを意味します。将来的には、防衛政策のスペシャリストとして、日本の行く末を左右する局面において内閣総理大臣や防衛大臣を補佐する立場になります。本省内部部局の一員になることは、皆さんの人生において大いにやりがいをもたらしてくれるでしょう。

防衛政策を企画・立案し、日本の未来のために安全保障・国防に貢献したいという揺るぎない志を持った皆さんをお待ちしております。

2. キャリアパス

一般職本省採用者は、入省2年目まで本省内部部局・防衛装備庁・統合幕僚監部において実務を経験し、3年目・4年目には地方協力本部などの地方機関に勤務することで、本省の政策ニーズを地方に伝えるとともに、政策実現の現場である地方機関への見識を深めます。その後、本省で勤務をしつつ、海外留学や他省庁への出向などによって防衛省・自衛隊の外に視野を広げる機会を経ながら「係長」としての経験も積みます。

その後、様々な経験を経て、他省庁の課長補佐級に相当する「部員」に任命されます。この部員制度は防衛省独自のスタッフ制度であり、自分の担当する政策分野において広範な責任と権限を与えられ、自らのイニシアティブで政策の企画・立案や実施を行うことが求められます。

3. 先輩職員からのメッセージ

防衛省・自衛隊には約27万人の隊員が所属しており、全国各地に職場があります。

このように大きな組織あるからこそ、防衛政策の立案、防衛装備品の調達、米軍や地方自治体等との調整、自衛官の採用など多種多様な仕事があることに加え、防衛省の役割がますます拡大していることから、様々なバックボーンを持った人材が必要とされています。

私も理系学部出身ですが、「行政区分」で入省しました。だからこそ、大学の専攻などに関係なく、ぜひ防衛省の説明会等に参加してみてください。様々な職員から話を聞き、防衛省の仕事を知ることで、どの様なバックボーンの方でも大学の専攻との共通点や新しい興味を持てると思っています！

採用年度：2018年 試験区分：国家一般職（大卒程度（行政区分））

所属：整備計画局情報通信課

お問い合わせ

防衛省 大臣官房 秘書課 人事企画係 一般職（本省）採用担当

TEL 03-3268-3111（内線:22112）

